

別記様式(第5条関係)

会 議 録 概 要

会 議 名	第5回 子どもの権利条例等検討委員会
開 催 日 時	令和6年10月2日 (木) 13時30分開会 15時00分閉会
開 催 場 所	三芳町体育館 小会議室 2
主 宰 者 氏 名	子どもの権利条例等検討委員会
出 席 者 氏 名	仲野委員長・飯塚副委員長・渡辺委員・加藤委員・八木澤委員・鴛淵委員・加藤委員・野村委員・矢尾板委員
欠 席 者 氏 名	
事 務 局 職 員	こども支援課 三室課長・中村副課長・三井主幹
議 題	・「(仮称)子どもの権利に関する条例」案について ・答申(案)について
会議結果	・9/4会議以降で変更した部分については、了承を得た。 ・逐条解説の表現について、修正の指摘を受けた。 ・答申(案)について、了承を得た。
会議経過	別添のとおり
会議資料	別紙のとおり
傍聴者0名	
発 言 者	議 題 ・ 発 言 ・ 結 果

	<p>1 開会 委員長挨拶</p> <p>2 議題 ①(仮称)子どもの権利に関する条例(案)について 事務局より9月4日第4回検討委員会で指摘部分、例規担当との確認により変更点を説明した。</p>
委員	はじめにの一番下、子どもの権利条約の4つの原則において、()内の「子どもが意味のある参加ができること」を「子どもにとって意味のある参加ができること」に変更してはどうか。
委員	出典を明らかにした方がいい。町のスタンスとして、参画をいれるかどうか。
委員	一般原則を言っているので、()は取ってしまった方がいい。原文では、意見の尊重とあり、参加は入っていない。条約の条文番号を入れる対応のほうが、原文の引用となる。
(事務局)	引用しているユニセフのページでも表現が異なる。一度確認して、正しい引用にする。
委員	前文の中の4段落目、「日々、世の中はどんどん変わっていきます。」の「どんどん」は、口語なので、いきなり口語文になるのはどうか。
(事務局)	難しい表現からわかりやすい表現に変えた経緯があったが、確かに「どんどん」という表現はいきなりすぎる。「世の中は、日々変わっていきます。」などの表現でどうか。また、前文については、全体の表現や印象として、段落構成を変更する予定。ただし、内容の変更はない。
委員	第2条第2号、大人の定義だが、「前号をのぞく町及び第3号から第6号に掲げる者を含む子どもの育ちに関わる者」としたほうが、すべての大人とわかる。
委員	第3条第2項第1号の「愛情や理解をもって育まれ」の「理解」がわからない。理解と愛情は並列なのか。
(事務局)	「理解」のイメージは人によるところ大きい。「理解」を削除したほうが、条文の意図が伝わる。
委員	第15条の解説で、「義務教育後の子どもについても必要な支援を・・・」とあるが、高校生は若者の範疇ではない。このあたりはどう整理するのか。
(事務局)	「町は、若者対策についてまとめていく」など、義務教育後から一部削除して、子どもに関しては条例の範囲で実施計画に結び付ける。

<p>(事 務 局)</p> <p>委 員</p>	<p>報告に参加人数の班づくりに、年齢に配慮とあるが、参加人数の班構成を知りたい。 →参加者は、小学校5年生から高校1年生。小学生はおおむね均等になる人数でまとめて、3班作った。中学生と高校生を含めた班を2班作った。</p> <p>第3条の順番だが、権利条約の条文順でなくていいのか。</p>
<p>(事 務 局)</p> <p>委 員</p> <p>委 員</p>	<p>町としては、まず、命が守られ成長することが一番大事と考えた。次に、社会として差別の禁止、子どもの最善の利益、意見表明とつづく。ここは、町の考えで順番を整理した。</p> <p>議題 ②答申(案)について 答申(案)について、事務局から説明を行った。</p> <p>2 「…行動計画を策定し、実行すること」の実行がほしい。</p> <p>3 「…さまざまな方法で子どもの意見を広く聴く」の子どもの意見を追加したほうがいい。</p>
<p>(事 務 局)</p>	<p>答申書については、いただいた意見を反映して修正したうえで、10/3に委員長から町長に渡す予定。</p> <p>以上で、三芳町子どもの権利条例等検討委員会は終了。</p>